

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	平成30年度 第5回高松市在宅医療介護連携推進会議
開 催 日 時	平成31年1月30日（水）19：00～20：00
開 催 場 所	高松市医師会館 2階 大会議室
議 題	1 退院支援・医療介護連携部会及び医療介護連携ミーティングの報告について 2 第4回・5回・6回在宅医療コーディネーター養成研修会の報告について 3 第2回多職種連携研修部会の報告について 4 在宅ケア便利なびの更新について 5 高松市在宅医療支援センターの報告について 6 その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	15人 吉澤委員長、大原職務代理、青木委員、大橋委員、長内委員、片山委員、多田委員、田中委員、辻委員、永岡委員、中村委員、林委員、坂東委員、松本委員、三橋委員
関係者	市医師会事務局（4人） その他：医師会（伊藤副会長）、県随行 在宅医療支援センター（2人）
傍 聴 者	0人
担 当 課 び 及 連 絡 先	長寿福祉課 地域包括ケア推進室 839-2345 長寿福祉課 在宅医療支援センター 839-2344 介護保険課 839-2326 地域包括支援センター 839-2811 保健対策課 地域医療対策室 839-3805

### 協議経過及び協議結果

#### 1 退院支援・医療介護連携部会及び医療介護連携ミーティングの報告について（資料1、1-1）

○A 委員から報告がある。

（委員長）入退院支援ルールを作成については、今年度中にたたき台ができればと思っている。  
また、在宅医療を受けている患者さんのところに、いわゆる徳島で言う「トクシイノート」のようなもので、介護保険の情報、かかりつけ医の情報、今の自分の病気、家族の連絡先、処方の内容など全てがわかるノートのようなものを作って、分かるところに必ず保管する。これは高松市が安心キットをすでに配布しているので、高松版の医療介護連携の情報ボックス的なブック的なものをこの委員会の中でも考えて作れば救急の時に役立つと思っております。

それから、在宅医療コーディネーター養成研修のオプションとして、2月16日に

高知市の市民公開講座に参加する啓発を考えておまして、高知市医師会が主催する、ACP のことでちょっと掘り下げて話ができるようなものです。高知市で在宅医療介護連携推進の高知市医師会の部会長やっておられる先生がメインで、副会長が司会をして、質疑応答もあります。今のところ参加者が10名程度で、2月16日の正午に、ここの駐車場に集まっていただいて、バスで行くということですので、委員の方で2月16日のお昼から空いている方は是非ご参加ください。

## 2 第2回・3回在宅医療コーディネーター養成研修会の報告について(資料2)

○B 委員から報告がある。

(委員長) いつもより2ヶ月ほど早く在宅医療コーディネーター養成研修が終了いたしまして、今回も42名に修了証書とバッジと修了証明書を渡しました。これで合計約160名の在宅医療コーディネーターが誕生いたしました。これだけの講習会を、年6回にわたってずっと続けてやっていけるというのは、担当していただいている、先生方のご苦勞はもちろんですけれども、それぞれの講師になってくれる方々が時間と情熱を割いてやってくれていて非常にありがたいと思っています。この方式でまた来年度も続けていきたいと思っています。修了式に出て感じたことですが、今回のように、講演会を聞いた後、聴衆たちは全員帰ってしまい、残ったのは委員と受講生だけでした。来年からは一般の聴衆の人たちにも見ていただけるような、何かいい方法を考えないと、市長がせっかく来てくれるのに挨拶する時に人がいなくなってしまう。一般の人それからマスコミにも事前になり込みをしていたのですが、リアクションがありませんでした。そういうことで、来年度、修了式等全部もう一度初心に帰って、一応4年終わりましたので、また募集のところから始めて、残りの時間で考え直して、新しいスタートを切りたいと思いますので、よろしくお願ひします。

## 3 第1回・2回多職種連携研修部会の報告について(資料3)

○C 委員から報告がある。

(委員長) 香川県警の方から、今まであまり聞いたことない話が聞けるかと思しますので、是非委員の方は参加していただければと思います。2月11日の祝日の開催になります。

## 4 在宅ケア便利なびの更新について(資料4)

○事務局から説明がある。

○便利なび更新の承認依頼がある。

(委員長) そのように変更いただいて大丈夫です。

(事務局) 前回、ご指摘がありました、便利なびのコラムの更新ですが、相談窓口一覧も連絡先の変更が何箇所かあるので、まとめて年度末か来年度に更新をしたいと考えております。

(委員長) はい。それで便利なびのオンライン版とかアプリ版とかの更新は良いのですが、最初に配ったアナログ版をどうするのか。まだ実際に使っている人達もいると思うの

で、全く新しく更新するのは、お金がかかりますので、例えば、追補版だとか、修正の冊子を作るかとか、今後部会で話し合っただけませんか。紙版の薄いので、パンフレットの的な何でもいいですから、今までの冊子に挟んで使うとか、使っている人に注意を促す意味でも。94件も変更があるとやっぱり多少影響が出てくると思うので、何年更新とかいうのでできればと思います。

(副会長) 紙ベースの時に、最後に総索引を付けていただければと思います。

(委員長) 全てのものが五十音で索引できるといいです。

## 5 高松市在宅医療支援センターの報告について (資料5)

○在宅医療支援センターより報告ある。

(B 委員) 認知症サポート医の委員の名簿とかを利用して連携していくという点が一つ。あと、事例2、事例3のような状況でしたら、有料老人ホームもあたるということも視野においておく。今後もサポート医もうまく活用して、地域に根ざして行ってほしいという思いです。

(在宅医療支援センター) 市内のサポート医の名簿から、この時はケアマネジャーさんからの問い合わせだったので、ご住所近くのサポート医の先生を紹介させていただきました。

(B 委員) 全般的に、病院からの地域連携室から地域に降りてきたときに一方通行の関係が多いので、できればセンターで、仲介した方の経過、例えば1ヶ月後、2ヶ月後、3ヶ月後どういうふうにご経過されているのか、幸せにご経過されているのか、何か不満がないかっていうような、追跡もしていただいて、問題があるようだったらこの場を提供していただいて、いろんな多職種で考えていける環境作りができればいいと思いますので、そのあたりもご協力よろしく願いいたします。

(在宅医療支援センター) はい。ありがとうございます。今後参考にさせていただきます。

(委員長) 病床を持ってやっていますと、患者さん家族、ケアマネ揃って医療で継続したがりです。お金が少なくて済むので。有料老人ホーム入ると、やっぱり医療よりはたくさんかかります。なので、療養型にあって、医療保険ですとつないでいく。それならもうほとんど無料です。日常生活費くらいなので、療養型がいいというのですが、療養型病棟ってというのは、数に限りがあります。療養型行くのにも、紹介状書いて家族面談があり、そして日にちが決まるといって、3段階あります。今もそうです。何回も紹介状を書いたことがあります。そういう状況が高松市にあるので、それも問題だろうと思います。今後ともその辺についてはよく考えていかなければいけない。

それからかかりつけ医の看取りの問題ですけど、かかりつけ医が在宅診療をやっているからといって、必ず看取りをやってくれる病院は多くはありません。かかりつけのところに戻せと言われても、戻されたら困るってところもあるでしょう。なので、今度在宅医療ネットワークができましたら、かかりつけ医で在宅診療をやっているけれども、看取りはできないとか、夜出て行くのはできない。というのを本音で言ってもらえ。そのためのネットワークだろうと思いますので、そういうのできるようにみんなで意見を出し合っしていきたいと思います。また、結果が

したら、在宅医療支援センターの方にも、もちろんその会議のところに参加していただいて、中身を聞いていただいて、夜間や休日、むしろ診療中の看取りができにくい。その辺のところも訪問看護ステーションとかそういったところと連携してやる必要があります。

(B 委員) 補足なのですが、まだ高松は在宅の看取りと考えると未熟なところがあるので、今すぐ看取ってもらわないといけないとか、がんの末期は在宅のかかりつけを受けたら看取るのが前提っていうのはある意味ナンセンスな話で、今できる資源の中で教育をして、足りないところを開放型病床を使うとか、個人のベッドを持っている先生にお手伝いいただく。そういうようなネットワークを組むところをこのメンバーで話し合い、考えていただければいいかなというふうに思っています。あと高松の現状として、今はこの先生看取りはできないけれども、終末期になったらこういう病院に転院が可能だとか、そういうようなだいたいの流れっていうのを伝えてあげれば、本人も患者さんもそう不安ないのかなと。ただもう看られないから終わりっていうのであれば、やっぱり経験を積んでいただかないと、なかなか看取りのかかりつけの医は増えないでしょうし、そこで問題があって初めてみんなが考えられる場が作れると思うので、ご協力いただければと思います。

(委員長) はい。ありがとうございました。

#### 4 その他

(委員長) 在宅医療コーディネーターの名簿をホームページとか、便利なびの中に載せていきたいと思いますが、今まで県外へ出られていない方とかは省いてそれ以外の方は全員載せて、在職施設のお名前であいうえお順にやるのが一番わかりやすいかなということで、やっていこうと思います。施設名、住所、氏名、職名、そういった中で最後に電話番号があるというふうなものをリストとして載せていきたいと思っています。

それから、中間の報告ですけれども、高松市医師会の在宅医療ネットワーク、在宅医療連絡協議会というやつが今現在で約60名のドクターの参加があります。

これも随時参加ですが、各ブロック2人以上また中核病院の先生方も応募できますので、是非名前を出していただければと思います。今中核病院で出ているのは県中とKKRと済生会、みんなの病院の主要なところだけです。他のところもできたら、出していただければと思います。できるだけ早い機会に役員会を開き、進めていきたいと思っています。

#### 【次回の日程】

平成30年度第6回高松市在宅医療介護連携推進会議を、平成31年3月27日（水）19：00～高松市医師会館にて開催することとなる。